

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-03-14

なし

(発行年 / Year)

1910

第二款 契約ノ效力

(理由) 本款ハ財産編第二章第一節第三款ニ該當(尙成法典ハ右第三款ヲ分チテ二則トシ當事者間及ヒ承繼人間ノ合意ノ效力ト第三者ニ對スル合意ノ效力トヲ區別シテ規定セリ) 本款ニ於テハ契約ニ依リテ物權ヲ創設又ハ移轉スル場合ニ於テ之ヲ以テ第三者ニ對抗スル要件等ノ事ハ第二編總則ニ之ヲ規定シタルヲ以テ既成法典ニ於ケルカ如ク區別ノ爲メコトヲ要セス故ニ財産編第三百四十八條ハ本款第百七十九條第百九十二條及ヒ第八十九條第二項ノ規定アルカ爲メ之ヲ省キ又同第三百四十七條ハ本款ニ之ヲ揭ケス同第三百四十五條ハ言フヲ俟メサルノモノナラス本款第四百二十六條ノ規定讓リ本款中ニ之ヲ揭ケス同第三百四十五條ハ言フヲ俟メサルノモノナラス本款第四百二十六條ノ規定アルカ爲メ之ヲ創除シタリ要スルニ債權ノ一原因トシテハ契約ノ第三者ニ對シテ效力ヲ生ゼサルハ疑ナキ處ナリト雖モ之ニ對スル多少ノ例外ナキニ非ス共一般の場合ニ通スルモノハ本款第五百二十四條以下ニ於テ之ヲ規定シ其他ノ例外ハ格段ノ場合ニ付キテ之ヲ規定スルコトニセリ

以上述アル處ニ依リテ見レハ財産編第二章第一節第三款第二則ノ規定ハ盡ク之ヲ創除シタルモノニシテ第一則モ亦第三百二十五條ノ規定ヲ除外盡クシテ之ヲ創除シタルヲ即チ財産編第三百二十七條ハ之ヲ置クノ必要ナキヲ以テ創除シ又同第三百二十八條ハ當事者ノ意思ヲ以テ普通法ノ規定ニ依ラサルヲ得ルコトヲ規定シタルモノナリト雖モ契約ニ關スル規定ハ兼テ任意の規定ナルヲ以テ當事者ノ意思ヲ以テ其適用ヲ避クルヲ俟メハ論ハテ公ノ秩序及ヒ善良ノ風俗ニ反スル場合ニ於

論ノ異ニセサルヲ得ス作爲又ハ不作爲目的トスル雙務契約ニ在リテハ危險ノ債務者ニ在ルコト古
 ヲリ疑フ生セス唯特定物ニ關スル物權ノ移轉ノ目的トスル場合ニ付キ學說及ヒ其法例其軌ヲ一ニセ
 ス蓋シ契約ノミニ依リテ物權ノ移轉スルモノトスルケキハ債權者ノ同時ニ所有者タルヲ以テ危險
 問題ノ實用ハ殆シト之ノキカ如シト雖モ當事者ノ意思ヲ以テ物權ノ移轉ヲ一時停止シタル場合ニ在
 リテハ此問題ヲ決スルノ必要アリ此問題ニ付テハ已ニ羅馬法ノ解釋トシテ學者ノ意見一致セズ或ハ
 物ノ所有者ノ爲メニ死スト云ヘル原則ニ依リテ所有者ト爲リタル者ニ危險擔當ヲ責アリト爲ス者ア
 リ或ハ之ニ反シテ雙務契約ノ性質上雙方ノ義務ハ其發生シタル一事ヲ以テ互ニ運命ノ別ニ已ニ履
 行ノ受ケタルト否トテ問ハズ物カ天災ニ因リテ滅失又ハ毀損シタル場合ニハ債權者ノ所有者ト爲リ
 タルト否トテ問ハスニ於テ其損失ヲ負擔セザルハカラスト爲ス者アリ第一ノ見解ハ羅馬法ヲ誤解
 スルヲ免レシ第二ノ見解ハ今日於テ最モ勢力ヲ有スル處トモノリテ債民法及ヒ既成法典則三
 五ハ危險擔當者ニ在リトシ又伊民法ハ危險ノ讓受人ニ在ルコトヲ規定シタルヲ以テ危險ノ負擔ハ
 物權移轉ノ效果ナルカ如キ觀アリト雖モ是レ唯通常ノ場合ニ付キ規定ノ爲メタルモノニ外ナラス決
 レテ債民法ノ主義ヲ棄テタルモノニ非ラサルナリ之ニ反シテ埃及法ニ西班牙法ニシテネグロ世產法
 獨逸民法草案及ヒ英吉利法ノ如キハ債務者ニ於テ危險ヲ負擔ス可キモノトナセリ此主義ハ一見其務
 契約ノ旨趣ニ適シテ頗ル公平ナルカ如シ蓋シ債權者カ權利ヲ取得スルコト能ハサルニ拘ラス自ラ其
 義務ヲ履行セザル可カラサルモノトスルハ其當初ノ意思ニ反シ甚ダ當テ感アリ契約ノ目的カ

作爲又ハ不作爲ニ在ル場合ニ於テ債務者ラシテ危險ヲ負擔シタル以上ハ契約ノ目的ヲ物權ノ移轉
 ニ在ルトキト雖モ同シク債務者ラシテ危險ヲ負擔セシムルハ彼此權衡ヲ得ルノ觀アルナリ然レモ
 契約ノ目的カ特定物ニ關スル物權ノ移轉ニ在ル場合ニ於テ債權者ラシテ危險ヲ負擔シタルハ別ニ
 理由アリ存スルナリ蓋シ特定物ヲ以テ契約ノ目的ト爲シタル場合ニ在リテハ所有者權ノ移轉スルト
 否ト問ハスレテ其物ノ運命自定マレリ即チ物ノ増加スルコトアルモ債權者ハ之ニ爲メ其對價ノ
 増加ヲ請求スルコトヲ得ヌ又之ニ反シテ物ノ減少スルコトアルモ債權者ハ寸離ト雖モ對價ノ減少ヲ
 求ムルコトヲ得ヌ斯ク物ノ價格ハ終始變動スルニ拘ラス一旦契約ノ目的ヲ爲リタル後ハ其損益ノ歸
 スル所ヲ一變レ對價ノ増減ヲ來ス可キモノニ非ラズ果シテ然ラバ物ノ滅失シタル場合ニ於テ亦債
 權者ラシテ對價ヲ供スルノ義務ヲ免レシム可カラサルナリ故ニ債權者カ特定物滅失ヲ危險ノ負擔ス
 ルハ物ノ増減シ又ハ其價ノ高低アル場合ニ於テ其負擔ニ變動ヲ來スコトナキト彼此權衡ヲ得ルモノ
 ト謂フヘシ惟ゾニ羅馬法ニ於テ已ニ危險カ債權者ニ在ルモノトシタル理由モ之ニ外ナラサルヲ信ス
 ルナリ唯木條ニ規定ハ第五百三十七條ニ依リテ證明カ如ク一ノ任意ノ規定ナルヲ以テ反對
 ノ契約ヲ以テ其適用ヲ避クルコトヲ得可キ故ニ實際ニ於テ當事者ノ意思ト相容レサルカ如キ結果
 ヲ生スルコトナカル可シ

第一項ハ特定物ニ關スル規定ナリ不特定物ニ在リテハ其特定物トナリタル時ニ於テ危險債權者ニ移轉
 スルモノトスルハ論理ニ於テ然ラサルヲ得サル所トス故ニ第二項ノ規定ヲ設ケタリ

第五百三十三條(五三三)

(理由) 本條ハ前條ト全ク反對ノ規定ニシテ既成法典及ヒ其他諸國ノ法律皆此ノ如クナラサルナレバ既成法典ハ本條ニ該當スル規定ヲ履行シ不能ニ關スル規定中ニ之ヲ置キ附五四(二)特定物ニ關スル免除負擔ノ問題ハ契約ノ効力ニ關スル規定トシテ之ヲ掲ケタリ本條ニ於テハ此ノ如ク之ヲ分ツ可キモノニ非ラズト認メラルヲ以テ本款ニ於テ併セテ之ヲ掲ケタリ財產編第五百四十二條ニ於テハ債務者ハ出相ノ限度ニ於テ權利ヲ有スルコトヲ規定シ本條ニ定メタル此原則ノ例外ヲ設ケザル然レトモ債務者カ出相ヲ爲レタル場合ニ於テハ多クハ自ラノ之對スル利益ヲ得テ損失ヲカレ可レ加之ヲラス若シ既成法典ノ規定ノ如クスルキハ計算ノ問題ヲ生シ其類少ナカラサルヘレ

第五百三十四條(五三三)

(理由) 本條乃至第五百三十六條ハ他人ノ利益ヲ爲メニスル契約ニ關スル規定ナリ此種ノ契約ノ有效ナルハ近時學者ノ疑ハサル處ニシテ立法例モ亦漸次ニ其效力ヲ認ムル傾向アリ之ニ反對シテ既成法典ハ此種ノ契約ヲ無効トセリ其理由トスル處ハ此契約ニ在リテハ金錢ノ見償ルコトヲ得可キ利益ナキヲ以テ原因ノ存セサル契約ト爲スニ在ルナリ(附三三)然レトモ本條ニ於テハ原因ヲ以テ契約ヲ要素ト爲サス又債權ノ目的ハ金錢ニ見償ルコトヲ得可キモノニ限ラサルノ主義ヲ採リタルヲ以テ此契約ヲ無効トスルノ理由ナレ

約ヲ無効トスルノ理由ナレ今當事者間ニ於テ此契約ノ有效ナルハ言フ俟マサルヲ以テ明文ヲ掲ケタルノ必要ナシト雖モ第三者カ此契約ニ依リテ權利ヲ取得ス可キモノナルキ否ニ在リテハ學說及ヒ立法例未ダ一致セサルヲ以テ特ニ之ニ關スル規定ヲ設ケルノ必要アリ從來ノ立法例ニ依レハ此場合ニ於テ第三者ハ契約ニ干與セサルヲ以テ其利益ヲ受クルコトヲ得ザルモノトシタルモ近時獨逸民法草案及ヒ瑞西債務法ノ如キハ正反對ニ第三者ヲテ直ニ權利ヲ取得シレトモ拒絕ヲ爲レル場合ニ於テ其權利ヲ失フモノトナセリ本條ニ於テハ右ノ兩主義ヲ折衷シ原則トシテハ當事者ノ意思ヲ以テ第三者ヲテ權利ヲ取得スルコトヲ得セリ唯當事者ノ自ラ知ラサル間ニ權利ヲ取得シタルモノト爲スハ其當ヲ得サルヲ以テ第二項ノ規定ヲ置キタリ

第五百三十五條(五三七)

(理由) 本條ノ規定ナキトハ果シテ本條ニ掲ケタルカ知キ結果ノ生スルヤ願ヒ疑ナキ能ハス何トナレハ第三者ハ當事者カ自由ニ契約ヲ變更シ又ハ廢棄スルコトヲ得ル範圍内ニ於テ權利ヲ取得シタルモノト解スルコトヲ得ヘケレハナリ若シ當事者カ隨意ニ第三者ノ權利ヲ變更シ又ハ廢棄シ得可キモノトモハ第三者ノ權利ハ有名無實ニ歸ス可キヲ以テ本條ノ規定ヲ置クノ必要アリ

第五百三十六條(五三八)

(理由) 本條ハ之ヲ設ケルノ必要ナキカ知レト雖モ第三者ノ權利ノ一旦發生シタル後ニ在リテハ全ク獨立シテ存在スルモノト解スル者ナキニ非サルナリ抑モ第三者ノ權利ハ當事者間ノ契約ニ基キテ

生スルモノナレハ債務者ヲシテ其契約ニ基キタル抗辯ヲ爲スコトヲ得セシムルハ甚ク至當ノ事ナリト信ス然レトモ債権者ハ契約ノ成立後ニ生シタル事由ニ基キテ抗辯ヲ爲スコトヲ得タルカ故ニ契約成立後ニ於テ債権者ニ對シテ取得シタル債權ヲ以テ相殺ノ用ニ供スルコト能ハサルコトナリ

第五百三十七條

(理由) 本款ニ規定セル事項ニ付テハ反對ノ意思ヲ表示スルコト決シテ少カラサル可ク又法律ニ別段ノ定アル場合モ屢々之アル可シ故ニ茲ニ本條ノ規定ヲ設ケタリ

第三款 契約ノ解除

既成法典ハ義務ノ消滅ニ關スル規定ノ一節トシテ契約ノ解除ニ關シ僅ニ第五百六十一條ノ一條ノ一條ヲ設ケト雖モ之レ單ニ義務ハ解除條件ノ成就又ハ裁判上得タル解除ニ因リテ消滅スルコト及ヒ解除訴權ハ通常ノ時効期間ニ從フコトヲ認ムルノミニシテ解除ニ關スル種々ノ規定ハ法典ノ所々散在シ殊ニ解除ノ結果ニ付キ相當ノ規定ヲ設ケサルハ其缺點ト云ハサルベカラズ故ニ本案ハ解除ニ關スル一般ノ規定ヲ囊括シ殊ニ解除ノ結果ヲ當事者ノ意思又ハ法律ノ規定ニ依リテ定メラフナル場合ニ於テ準則ヲ示レ其他既成法典ニ規定セサル多數當事者間ノ契約ノ解除ニ關シ或ハ解除權ノ消滅ニ關シ順次適當ノ規定ヲ設ケタリ

第五百二十九條

契約解除ノ方法ニ關スル諸國ノ立法例ハ凡ソ之ヲ三種ニ區別スルコトヲ得即チ一ハ德伊和諸國ノ法典及ヒ既成法典ノ如ク裁判上ノ解除方法ニ依リ一ハ羅馬民法章纂瑞士債務法ノ如ク意思表示ニ依ル解除方法ヲ採リ一ハ當然解除ノ主義ニ依ルモノトス而シテ當然解除ノ主義ハ極メテ簡便ナリト雖モ簡易ニ過タルノ弊害ハ未ダ法律ニ慣レサル一般人民ヲシテ往々不知不識ノ間ニ權利ヲ失ヒ意外ノ不利ヲ蒙ラシムルモノナレハ當然解除ノ主義ハ便宜上或場合ニ限リテ之ヲ設ムルベキモ一般ニ此主義ニ從フハ法律保護ニ本旨ニ適セサルヲ以テ本案ハ既ニ相殺ノ規定ニ付キ當然相殺カ行ハルベキ主義ヲ採用セザリシ如ク本條ニ於テモ亦當然解除ノ主義ヲ排斥セリ次ニ裁判上ノ解除方法ハ極メテ簡